

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2001-299996 (P2001-299996A)
 【公開日】平成 13 年 10 月 30 日 (2001.10.30)
 【出願番号】特願 2000-122174 (P2000-122174)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 3 F 5/04

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 K

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 H

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 1 日 (2004.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各種シンボルが記されたリールを 3 列並べて、シンボル表示窓から前記各リールの一部が覗くように配置し、

遊技者によりコインが投入されて、始動レバーが操作されることにより前記各リールを別々に回転駆動させ、さらに停止ボタンを押すことにより前記各リールの回転を停止させて、前記シンボル表示窓内に前記シンボルを表示するように構成し、

遊技者により投入されたコイン及びコイン補給ユニットから補給されたコインを貯留するとともに、前記各リールの停止時に、シンボル表示窓に表示されたシンボルの組み合わせに応じて、貯留しているコインを払い出すホッパー装置を備え、

コイン投入数に対する払出数の期待値が 1 より小さく設定されている通常遊技状態において、特定のシンボルが整列すると、コイン投入数に対するコイン払出数の期待値が 1 より大きい特別遊技状態に入る遊技機において、

前記ホッパー装置内のコインの貯留量が不足していることを検出する貯留量検出手段と

、

前記貯留量検出手段がコインの貯留量の不足を検出した場合に、前記コイン補給ユニットにコイン補給要求信号を出力するコイン補給要求信号出力手段と、

遊技状態が特別遊技状態でないにもかかわらず前記貯留量検出手段がコイン貯留量の不足を検出した場合に異常発生と判定する異常判定手段と、

前記異常判定手段により異常発生の判定がなされた場合に、前記コイン補給要求信号の送信を停止する異常対応手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記異常対応手段は、前記異常判定手段により異常判定がなされたことを報知する異常報知手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記異常判定手段は、前記特別遊技状態が終了してから所定時間が経過するまでは異常判定を行わないようにしたことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

第1の発明では、各種シンボルが記されたリールを3列並べて、シンボル表示窓から前記各リールの一部が覗くように配置し、遊技者によりコインが投入されて、始動レバーが操作されることにより前記各リールを別々に回転駆動させ、さらに停止ボタンを押すことにより前記各リールの回転を停止させて、前記シンボル表示窓内に前記シンボルを表示するように構成し、遊技者により投入されたコイン及びコイン補給ユニットから補給されたコインを貯留するとともに、前記各リールの停止時に、シンボル表示窓に表示されたシンボルの組み合わせに応じて、貯留しているコインを払い出すホッパー装置を備え、コイン投入数に対する払出数の期待値が1より小さく設定されている通常遊技状態において、特定のシンボルが整列すると、コイン投入数に対するコイン払出数の期待値が1より大きい特別遊技状態に入る遊技機において、前記ホッパー装置内のコインの貯留量が不足していることを検出する貯留量検出手段と、前記貯留量検出手段がコインの貯留量の不足を検出した場合に、前記コイン補給ユニットにコイン補給要求信号を出力するコイン補給要求信号出力手段と、遊技状態が特別遊技状態でないにもかかわらず前記貯留量検出手段がコイン貯留量の不足を検出した場合に異常発生と判定する異常判定手段と、前記異常判定手段により異常発生の判定がなされた場合に、前記コイン補給要求信号の送信を停止する異常対応手段とを備えた。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第2の発明では、前記異常判定手段により異常判定がなされたことを報知する異常報知手段を備えた。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第3の発明では、前記特別遊技状態が終了してから所定時間が経過するまでは異常判定を行わないようにした。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【発明の作用および効果】

第1の発明では、遊技状態が特別遊技状態ではなく、大量のコインが払い出されて遊技機内のコインが不足するとは考えられないにもかかわらず、コインの不足が検出された場合には、不正行為や故障等によって不適正なコインの払い出しがなされていると認定し、異常発生の判定を行うとともに、コイン補給ユニットへのコイン補給要求信号の送信を停止する。したがって、不正行為等があった場合にコイン補給ユニットからのコイン補給が継続して、新たに補給されたコインまで払い出されてしまうことはなく、被害（払い出されてしまうコイン量）を最小限とすることができる。また、遊技機のメンテナンス時に遊技機からコインを抜き取った場合に、コインの不足としてコイン補給ユニットへコイン供給の要求がなされ、コイン補給ユニットからコインが新たに補給されてしまうことはなく、メンテナンス時の処理が容易となる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

第2の発明では、異常判定時には異常報知手段による報知がなされるので、異常発生を迅速に知ることができ、素早く対処できる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第3の発明では、特別遊技状態が終了してから所定時間が経過するまでは異常判定を行わないので、特別遊技状態における遊技媒体の排出に起因して遊技媒体が不足しているに過ぎない場合（例えば、遊技媒体の不足検出が遅れてなされた場合等）にまで異常判定がなされてしまうことはなく、不要な異常判定によって遊技の進行が妨げられることはない。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】